

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 宮城県大崎市立大貫小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒989-4302
宮城県大崎市田尻大貫字境37-1

E-mail : osaki_oonuki@educ.osaki.miyagi.jp

Website : 無

児童生徒数：男子 56 名 女子 63 名 合計 119 名
 児童・生徒の年齢 7歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

<ESD Rice プロジェクトに参加>

総合的な学習の時間を中心に、3年「大貫の自然を楽しもう」「蕪栗沼の生き物たちを紹介しよう」、4年「自然の宝を知ろう」、5年「米作りを体験しよう」、6年「自然環境を見つめよう」「未来を見つめよう」の単元を設定して、『ふるさと大貫』の学習を進めている。これらの学習は、5年生の「米作りを体験しよう」を中心に、「生き物調査」⇒「米作り」⇒「環境を考える」⇒「未来へ」として、児童の意識や活動を継続させる4年間を通した大単元ととらえている。この学習での今年度の活動は、以下のとおりである。

【3年生】

「大貫の自然を楽しもう」

- 学校近くのビオトープ（ふゆみず田んぼ）での生き物調査
 - ・ビオトープにいる生き物を捕獲し、図鑑を使って名前を調べたり、NPO「田んぼ」の職員の方に教えてもらったりした。
 - ・季節ごとに調べたことで、生き物の季節ごとの変化を感じることができた。
 - ・学校周りの田んぼとビオトープの生き物調査を実施し、ビオトープには生き物の種類が多いことを理解した。（生物多様性への気付き）
- 大貫生き物マップを作成
 - ・生き物調査をしたり家族から聞いたりして、自分たちの住んでいる地区ごとに分担して大貫地区の生き物マップを作成した。

「蕪栗沼の生き物たちを紹介しよう」

- 蕪栗沼での野鳥観察
 - ・NPO「蕪栗ぬまっこくらぶ」の協力の下、蕪栗沼に行って野鳥観察を実施した。白鳥やガン、オオヒシクイなどの冬の渡り鳥を観察し、見分け方や鳴き声などを学習した。
- 学校近くの堤での白鳥観察
 - ・白鳥を間近に観察してきた。
- ポスター作り
 - ・自分が興味ある野鳥について、インタビューや図鑑・インターネットで調べた後、ポスターにまとめ掲示した。

【4年生】

「自然の宝を知ろう」

- 出前授業
 - ・NPO「蕪栗ぬまっこくらぶ」による生き物出前授業で、蕪栗沼にすむ生き物にじっくりと触れる活動を行った。
- 蕪栗沼での生き物調査
 - ・出前授業で観察した生き物を探したり、そのほかの生き物の名前を調べたりするなど、蕪栗沼で自然とたっぷり触れ合う活動を行った。
- 発表会
 - ・蕪栗沼で自然と触れ合う体験から、大貫の「宝」について考え、それを学習参観で発表した。子どもたちの学習や考えを大人に知ってもらうよい機会となった。

【5年生】

「米作りを体験しよう」

- ふゆみず田んぼ（無農薬・無肥料）での一連の米作り体験
 - ・種まき，人間代かき，田植え，除草，稲刈り，脱穀を，NPO「田んぼ」や地域の方，保護者の協力のもと，体験した。
 - ・昔の道具（足踏み式脱穀機や唐箕）を使って脱穀体験をした。
- 生き物調査
 - ・米作りの作業と並行して，田んぼの生き物調査を実施している。図鑑で名前を確認しながら，生物多様性について学習してきた。
- 収穫祭
 - ・米作りの作業でお世話になった方を招待し，収穫した米を釜で炊いておにぎりを作ったり，感謝状を渡したりするなどして感謝の気持ちを伝える会を開いた。
- 米の寄付
 - ・収穫した米を地元の社会福祉協議会に寄付し，役立ててもらおうことにした。

【6年生】

「自然環境を見つめよう」「未来を見つめよう」

- 大貫の昔と今を比べる。
 - ・おじいさんたちが6年生のころ（約50年ぐらい前），お父さんたちが6年生のころ（約20年ぐらい前），自分たちが6年生のころ（現在）を比べる。
 - ・「自然に関すること（環境）」「町の様子に関すること（社会）」「仕事に関すること（経済）」「文化に関すること（文化）」の4つの観点で調べた。
- 「過去・現在」から「未来の大貫」を考える。
 - ・50年後の大貫にあればよいものを考え，ジオラマで表す。
 - ・特に詳しく説明したい建物の模型を作る。



《国際協働学習》

- タイのジラサート校，フィリピンのカレ小学校，大貫小学校の3校での国際協働学習を実施
- 各地域の50年後の未来を考える。
 - ・社会・経済・環境・文化の面から考えた。
 - ・過去や現在のふるさとの姿を調べ，未来の姿をジオラマで表した。
 - ・ジオラマを使いながら，それぞれが考えたことをテレビ会議で発表し合った。
 - ・各国の現状や未来に対する思いや夢を交流することで，相違点に気付いたり，共感して話を聞いたりしていた。
- 蕪栗沼クリーン作戦に参加
 - ・大崎市田尻観光協会主催の「蕪栗沼クリーン作戦」に，毎年5・6年生が参加している。見えないところに大量のゴミが捨てられていることを実感しながら，一生懸命にきれいにしようと頑張る姿が見られた。

